

令和 4 年 7 月発行

第 43 号

発行 社会福祉法人

湧別町社会福祉協議会

ゆうべつ

社協だより



ふれあい サロンゆう・きず
なの2サロンでは、かみゆうべつ
チューリップ公園への「おでかけ
サロン」を実施しました。チュー
リップが見頃を迎えた5月20日、
園内の自由散策や周遊バスを利用
した見学、売店ブースの利用な
どを楽しみました。「やっとみん
なでおでかけできるようになっ
た」。コロナ禍で自粛することが
多い生活の中で、久しぶりのお出
掛けを楽しまれたようです。



ふだんのくらしがしあわせであるように

耳を傾け、寄り添う

第2回地域の支え合い活動を考える学習会

『地域で支え合うために、傾聴を学び理解を深める』

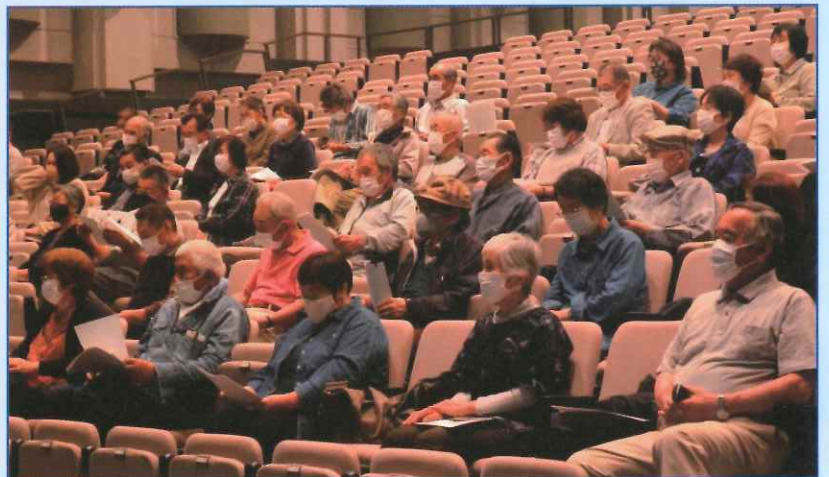
5月17日、湧別町文化センターTOMにおいて、第2回地域の支え合い活動を考える学習会を開催いたしました。91名の町民が参加され、自治会役員や民生委員児童委員、老人クラブ役員や福祉委員、ボランティア団体の会員など、地域福祉活動に関わる方が多く聴講されました。

この学習会は、住民が中心となり関係機関と協働しながら、地域の支え合い活動を推進することを目的とした湧別町生活支援体制整備事業の一環で、町民の学習機会として湧別町と共催したものです。

支援を求めるさまざまな人に対し、おもに傾聴による寄り添う心のケアを行う臨床宗教師として活動される町内在住の僧侶、米本智泉氏を招き「いま、求められる『傾聴』とは、耳を傾けて聴く、寄り添う」という支え合い活動」と題し、講演をいただきました。

講演では、臨床宗教師の理念や活動内容を紹介された後、傾聴活動の大切さや必要とされる社会背景、傾聴のテクニックについてお話がありました。また、実践例のレクチャーを交えるなど、わかりやすく丁寧な講演が好評でした。

参加者は、熱心にメモを取る方が多く「日頃の生活において、とても参考になった」という声が多く寄せられました。



参加者の声

- ・ 聴くことの大切さを再認識しました。(60歳代・男性)
- ・ 傾聴を求めている人がたくさんいるのではないかと感じました。(60歳代・女性)
- ・ 臨床宗教師という人がいることをはじめて知りました。「支え」とは何か、考えてみようと思います。(70歳代・女性)

講師のこぼれ

聴くとは「耳を突き出し正しい心で聴く」こと

臨床宗教師 米本智泉氏

聴くこと(傾聴)に必要なこと

- ・ 話を聴く人は目立ってはいけない。相手が主役で、自分は聴き役であることを理解する。
- ・ 「寄り添う」ではなく「寄り添わせていただく」という慈しみの心で対応する。
- ・ 人によって価値観は違うということを考え、多様性を受け入れる。
- ・ 相手の「支え」となるものを知る前に、自らの人生の「支え」になっていることを知る。
- ・ 「反復」と「沈黙」を使う。
- ・ 「誰にも解決できない苦しみ」があることを知る。
- ・ 傾聴活動のあと自身の対応を振り返り、常に学び続ける。



令和3年度 事業報告

令和3年度湧別町社会福祉協議会事業報告及び収支決算について、評議員会において承認されましたのでご報告いたします。

◆法人運営事業

- 【自主財源の確保】
 - ・ 社協会費の徴収
 - ・ 共同募金配分金
- 【各種研修会への参加】
- 【法人運営に伴う諸会議の開催】
 - ・ 理事会 4回
 - ・ 評議員会 2回
 - ・ 監事監査 4回
- 【社協ホームページの開設】
- 【役員研修の実施】
 - ・ 生活福祉資金貸付事業
 - ・ 生活福祉資金貸付事業の有効的活用と推進
 - ・ 研修会への参加
- ◆共同募金配分金事業
 - 【赤い羽根募金への協力】
 - ・ 募金のPR活動及び募金活動への協力

助成事業

- ・ 老人クラブ連合会活動助成
- ・ ふれあいサロン活動助成
- ・ 小地域福祉活動支援
- ・ 福祉団体活動助成
- ・ 児童・青少年福祉活動助成
- ・ 歳末たすけあい事業
- 【歳末たすけあい運動事業】
 - ・ おせち料理宅配 118名
- ◆地域福祉活動事業
 - 【ふれあい事業の開催】
 - ・ ふれあい散策会（中止）
 - ・ ふれあい昼食会（中止）
 - ・ ふれあい食堂ポレポレの開設
 - ・ ふれあい訪問・郵便の実施
 - 【地域福祉活動支援事業】
 - ・ 福祉車両等の貸出
 - 【福祉委員活動の推進】
 - ・ 小地域ネットワーク活動
 - ・ 福祉委員会議の開催 1回
 - 【在宅介護者への支援事業】
 - ・ ベッド、車椅子等の福祉用具の貸し出し
 - 【除雪サービス事業】
 - ・ 利用者 121世帯
 - ・ 延利用回数 1,310回

【給食サービス事業】

- ・ 週2回 一食350円
- ・ 利用者77名 延5,388食
- 【緊急医療情報キット設置事業】
 - ・ 70歳以上の一人暮らし世帯を対象に緊急時に必要な情報を整備し備え置く
- 【地域活動支援センターポレポレゆづべつ支援】
- 【地域福祉活動支援事業】
 - ・ 地域イベント用機器貸出事業

◆ボランティア活動事業

- 【ボランティア活動推進】
 - ・ 研修会への参加
 - ・ 管内V活動推進会議（中止）
 - ・ 管内Vフォーラム
 - ・ ボランティア愛三フレンド（中止）
- 【ボランティア活動育成事業】
- ・ ボランティア団体、児童・生徒ボランティア活動助成
- ◆町委託事業
 - 【生活支援体制整備事業】
 - ・ 外出支援サービス事業
 - ・ 延利用回数 50回
 - 【軽度生活援助事業】
 - ・ 訪問型介護予防事業
 - ・ 延訪問回数 24回

【生活管理指導員派遣事業】

- ・ 延利用回数 87回
- 【養育支援訪問事業】
 - ・ 延利用回数 7回
- 【生きがい対応型ティサービス事業】
 - ・ 湧別地区
 - ・ 利用者 延1,638名
 - ・ 上湧別地区
 - ・ 利用者 延2,627名

◆介護保険事業

- ・ 訪問、予防介護事業
- ・ 居宅介護支援事業
- ・ 各種研修会への参加
- ◆障害者自立支援事業
 - ・ 居宅介護事業
 - ・ 重度訪問介護事業
 - ・ 相談支援事業
- ・ 各種研修会への参加
- ◆社会福祉会館管理事業
 - ・ 福祉会館指定管理
- ◆各種団体の運営
 - ・ 湧別町老人クラブ連合会
 - ・ 身体障害者福祉協会湧別分会
 - ・ 湧別町共同募金委員会

令和3年度 湧別町社会福祉協議会決算報告

(単位：円)

資金収支計算書

科目	金額	科目	金額
人件費支出	103,798,396	会費収入	2,516,500
事業費支出	16,066,615	寄付金収入	3,380,000
事務費支出	12,381,233	経常経費補助金収入	34,550,709
共同募金配分金事業費	1,814,645	受託金収入	31,278,774
助成金支出	600,000	事業収入	4,986,747
負担金支出	563,359	介護保険事業収入	68,284,006
雑支出	115,310	障害福祉サービス事業収入	5,424,200
固定資産取得支出	5,394,000	雑収入	1,097,160
積立資産支出	1,849,718	受取利息配分金収入	7,978
その他活動支出	592,039	積立資産取崩収入	0
支出計(2)	143,175,315	収入計(1)	151,526,074
予備費支出(3)			0
当期資金収支差額合計(4) = (1) - (2) - (3)			8,350,759
前期末支払資金残高(5)			15,385,359
当期末支払資金残高(4) + (5)			23,736,118

事業活動収支計算書

科目	金額	科目	金額
人件費支出	101,636,836	会費収益	2,516,500
事業費支出	16,066,615	寄付金収益	3,380,000
事務費支出	12,381,233	経常経費補助金収益	34,550,709
共同募金配分金事業費	1,814,645	受託金収益	31,278,774
助成金支出	600,000	事業収益	4,986,747
負担金支出	563,359	介護保険事業収益	68,284,006
減価償却費	2,149,434	障害福祉サービス事業収益	5,424,200
その他費用	115,310	雑収益	1,097,160
固定資産処分損	4	受取利息配分金収益	7,978
その他特別損失	592,039		
支出計(2)	135,919,475	収入計(1)	151,526,074
当期末繰越活動収支差額(3) = (1) - (2)			15,606,599
前期繰越活動収支差額(4)			19,800,812
当期末繰越活動収支差額(5) = (3) + (4)			35,407,411
その他の積立金取崩額(6)			0
その他の積立金積立額(7)			4,011,278
次期繰越活動収支差額(8) = (5) + (6) - (7)			31,396,133

財産目録

科目	金額
流動資産	31,402,081
現金預金	17,345,531
未収金	14,033,742
前払金	22,808
固定資産	59,733,325
基本財産	2,000,000
車両運搬具	6,105,637
器具及び備品	1,544,375
構築物	3
投資有価証券	10,000
退職給与積立金	38,244,668
福祉資金貸付預金	2,000,000
その他の積立金	9,828,642
資産の部合計	91,135,406
流動負債	7,869,414
未払金	5,054,135
預り金	962,279
未返還金	1,853,000
固定負債	38,244,668
退職給与引当金	38,244,668
負債の部合計	46,114,082
差引純財産	45,021,324

貸借対照表

科目	金額	科目	金額
流動資産	31,605,532	流動負債	7,869,414
現金預金	17,345,531	未払金	5,054,135
未収金	14,033,742	預り金	962,279
前払金	0	未返還金	1,853,000
前払費用	226,259		
仮払金	0	固定負債	38,244,668
固定資産	59,733,325	退職給与引当金	38,244,668
基本財産	2,000,000		
車両運搬具	6,105,637	負債合計	46,114,082
投資有価証券	10,000	純資産	4,000,000
器具及び備品	1,544,375	基本金	2,000,000
構築物	3	貸付基金	2,000,000
退職共済積立資産	19,877,605	その他の積立金	9,828,642
退職手当積立資産	18,367,063		
福祉資金貸付預金	2,000,000	次期繰越活動収支差額	31,396,133
その他の積立金	9,828,642	純資産合計	45,224,775
資産合計	91,338,857	負債・純資産合計	91,338,857

社協役職員のおもな動静

令和4年4月から令和4年6月まで

月日	用 務	出席者	月日	用 務	出席者
4. 6	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	5. 24	亜麻の里入居判定委員会	局長
4. 8	ふれあいサロンあい訪問	職員	5. 25	安全運転管理者講習会	局長
4. 8	網走地区身体障害者福祉協会 会計監査	職員 (同行)	5. 25	ふれあいサロンとも出前講座	職員
4. 13	湧別町チャレンジデー 実行委員会総会	会長	5. 26	湧別町社協第1回会計監査	会長 監事他
4. 13	北町シニアクラブ訪問	職員	5. 27	オホーツク管内市町村社協 連絡協議会遠軽ブロック会議	会長 局長
4. 15	ふれあいサロンきずな訪問	職員	5. 27	NPO 法人ポレポレゆうべつ総会	副会長
4. 20	第1回湧別町社会福祉事業 検討会議	会長 局長他	6. 1	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
4. 20	信部内まことクラブ講話会	職員	6. 10	湧別町社協第1回理事会	会長他
4. 20	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	6. 10	ふれあいサロンあい訪問	職員
4. 22	ふれあいサロンゆう出前講座	職員	6. 13	災害ボランティアコーディネーター 養成・資質向上研修会(オンライン)	職員
4. 27	湧別町老人クラブ連合会 役員会議	職員	6. 14	支えあいサポーター養成講座 (対象: 町内郵便局職員)	職員
4. 28	生活支援体制整備事業 第1回担当者会議	局長他	6. 15	支えあいサポーター養成講座 (対象: 登栄床自治会住民)	職員
5. 10	湧別町民生委員児童委員協議会 懇談会	局長	6. 15	湧別オホーツク園入所判定会議	職員
5. 13	ふれあいサロンあい出前講座	職員	6. 17	北海道社会福祉協議会職員連絡 協議会正副会長等合同会議	局長
5. 13	網走地区身体障害者福祉協会 総会	職員	6. 17	芭露にこここクラブ出前講座	職員
5. 17	地域の支え合いを考える学習会	(主催)	6. 20	湧別町明るい選挙推進協議会総会	会長
5. 18	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	6. 22	第3回湧別町社会福祉事業 検討会議	局長他
5. 19	第2回湧別町社会福祉事業 検討会議	局長他	6. 23	湧別町民生委員推薦会議	会長
5. 19	網走地区老人クラブ連合会総会	職員	6. 27	オホーツク圏市民活動ボランティア 推進会議	職員
5. 20	ふれあいサロンゆう訪問	職員	6. 29	生活支援体制整備事業 第2回担当者会議	局長他



- 頒布場所は次のとおりです。(1つ500円以上の募金をお願いします)
- ◆かみゆうべつ温泉
 - ◆チューリップの湯様(中湧別中町)
 - ◆イワイ様(中湧別中町)
 - ◆麵屋おほーつく様(北兵村三区)
 - ◆社協本所事務所(中湧別南町・社会福祉会館内)
 - ◆社協支所事務所(栄町・湧別町役場湧別第2庁舎内)

6年目を迎えた湧別町オリジナルの「赤い羽根共同募金・ご当地ピンバッジ」が、湧別高校ボランティア部と共同でデザインを制作し、完成しました。

今年のデザインは、湧別町のご当地マスケット・チューピットと、疫病退治の妖怪・アマビエが描かれています。社協事務所のほか町内協力事業所において頒布募金活動を実施しています。地域福祉拡充のため、皆様のご協力をお願いします。

あたたかい寄付金ありがとうございます

(令和4年4月1日から令和4年6月30日まで)

■香典返しを廃止して

(敬称略)

月日	住所	氏名	金額	月日	住所	氏名	金額
4. 4	川西	菅井正寿	50,000	6. 7	栄町	松下ケイ子	30,000
4. 6	計呂地	萩原容子	30,000	6. 10	遠軽町	松原優斗	10,000
4. 14	網走市	井尾宏	30,000	6. 14	錦町	斉藤安雄	30,000
4. 20	緑陰	岩佐浩之	10,000	6. 17	4の2	岡和田博	30,000
4. 21	富美	小野幸雄	10,000	6. 22	東町	池端静子	30,000
5. 9	南町	平井紀美	20,000	6. 23	東	鈴木幹雄	30,000
5. 9	東町	兼田ミツル	20,000	6. 24	富美	戸野部末子	30,000
5. 10	屯市	井上伸一郎	30,000	6. 24	5の1	水上藤吉	30,000
5. 23	東町	松尾貞一	20,000	6. 27	信部内	白田一穂	30,000
6. 1	開盛	遠田哲夫	100,000	6. 30	登栄床	舘岡孝	30,000

■福祉活動に役立てて

(敬称略)

住所	氏名・会社名	品名
東町	アサヒ食品工業(株)	食品(うどん・そば・ラーメン) 給食サービス・デイサービスに毎月ありがとうございます。



地域活動や被災地などでボランティア活動をはじめる前に

ボランティア活動保険のご案内

地域内のボランティア活動や、地震や豪雨などの大規模災害が発生したときに災害ボランティアとして被災地で活動するとき、万が一の怪我や賠償責任を補償するために「ボランティア活動保険」への加入が必要になります。

特に、災害ボランティアセンターで活動する場合は、ボランティア活動保険への加入が必須条件になっています。加入手続きは、居住する市町村の社会福祉協議会で行いますので、事前に社協で加入をお願いします。

■補償される活動 対象は次のいずれかに該当する活動であること。

1. 社会福祉協議会に登録された団体・グループの会則に則った活動であること。
2. 社会福祉協議会に届け出た活動であること。
3. 社会福祉協議会に委嘱された活動※であること。

※災害ボランティアセンターが募集したボランティア活動はこれにあたります。

■補償内容(一例) 死亡保険金 1,040万円、入院保険金日額 6,500円、通院保険金日額 4,000円など

■年間保険料

1. 基本プラン 350円(地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません)
2. 天災・地震補償プラン 500円
3. 特定感染症重点プラン 550円

災害ボランティアセンターで活動するときは、
2または3のプランへの加入が必要です。

湧別町社会福祉協議会 本所 湧別町中湧別南町(湧別町社会福祉会館内) 電話2-2197
支所 湧別町栄町(湧別町役場湧別第2庁舎内) 電話5-3772

社協のことや地域福祉活動のようすをお伝えしています。ぜひご覧ください。

湧別町社協のホームページ・Facebookはこちらから

湧別町社協

